



日二新聞

定價一匁

第 三十 輯

西垣文庫
文庫 10
7356
13



特 文庫10
7356
13

新聞才十三輯

辰五月



○伊豆國より来り或人の物語

五月廿六日拂曉豆州網代浦あどろより乗船同廿七日夕七
ツ時過の頃江戸へ着せ人の物語此廿六日の夕景
小田原の方より當り発砲の聲こゑあり尚翌廿七日朝五
ツ時前後より四ツ時過に至るまで砲声と聞たり右ハ
定て去廿一日頃より林昌之助と云ふもの小田原へ入
城一唐かくれハ官軍方にておれ等と討取らん為久出
張一遂に戦争に及びたるからん



此は松下嘉兵衛と云ふ旗本なり此の過ぎ一頃伊豆國の内へ土着したり一脱走兵同人の居る地へ押寄せ一戦およびくると同人大敗一甲州路さして逃るるよし

○上総國より来り一人の物語

榊原殿此事過さ一頃上総國辺へ脱走兵鎮撫として出張の処同国小田喜村と云ふ所は松平織部正居城のり一ゆへおれと請取んが為免此地へは越かりこり其道して同國長南宿伊勢屋某大家あると以て泊る本陣もあり一う家室も殊の外立派あるゆへ往返ともは

本陣とありたり此某は泊の節懇一扱ひては世話も行届くれハは廢美として額并一掛物ともあるものへは振筆あされ且は宿札とも下され一ゆへ有るく一拜領いたし一り然るは榊原殿は歸府後同所并近在近所の農民とも多勢して寄来り先は下され一宿札と打ちくぐき尚も某の宅と打毀ちたり扱此松平織部正事ハ当正月中扱倉伊賀守等と共に大坂より逃歸りたる人にて其頃ハ若年寄の役あり一が歸後在所して謹慎一居り一り然るは榊原殿ハ其城と請取られ織部正と佐倉侯へ預けられ城ハ松平伊豆守殿へは預けらる

しとあり

○奥州岩城よりの或人書状抜書

下拙事五月十四日其比地鏡砲洲より乗船以て同日
浦賀まで来り同所へ一泊以て翌十五日早朝同港
出帆仕に幸ひに風様よろしく十八日九ツ時頃常州
那珂の港沖に至りに最早三里許りて那珂の港内へ着
船可相成趣船頭ども申聞に付樂しみ居在に処向ふ
の方より千石積許の船一艘舩り来り終に五六丁も離
れしと覺し頃小銃を携へたる武士十四五人舟の屋
根へ登り不意に当船へ向け発砲いづくに何やへり知

らに突然の事にて大に驚き一刻も早く通り過ぎ度存
しに其内船頭三人小生とも仲間の内二人手足又ハ
胸等へ銃丸当りしに付何の工夫も出に当惑いづく居
に処先方の船直に当船へ接近しどろくと船縁へ乗移
り人数十四五人許りて申様ハ貴族方所持の金子定て
有之に不残きし出さるるに於てハ我ホも了簡有之
且又其所に積るる荷物も不残相渡すべし万一不渡お
ろくハ一人も残らぬ殺害すべしと強談を受け小生ど
もハ終に五六輩の事おれハ如何とも詮方なく所持の
金子六百両其外荷物三十行李奪取られさんくの目し

合^ひ中^の夫^{より}怪^我人^を介^抱一^急き帆^揚げ帆^り出^し
平^ら浮^かへ入^港一^先安心^いく^い当^所よ^て承^りい^へバ^外
も尚^も私^{ども}も同^様の目^よ逢^いものも有^之い^由是^ハ先^先
頃^野州^{より}白^川辺^よて合^戦有^之い^節敗^軍の武^士海^岸
へ落^来り船^頭と語^らい船^を出^させ所^々と海^賊とい^く
廻^りい^そ中^を説^ふ有^之い^尤怪^我人^五人の内^胸を打^れい^も
の二^人死^去い^く外^三人の漸^々全^快可^相成^と医^師
共^に中^の

○
一 本月廿五日駿州木瀬川よ^おいて脱^走兵^松下^嘉兵^衛

と戦争同人敗走の由風聞^はれとも未^だ詳^{あら}ん

一 小田原宿市中人民^近在^へ立^退い^由

一 大久保加賀守殿ハ喜^授所^本源^寺へ立^退い^謹慎^に

一 本月廿六日由^帰城^に趣^き

一 戦争の地ハ箱^根の麓^山崎^村地^内字^三枚^橋辺^をり敵

ハ脱^走兵^討寺^ハ小^田原^勢先^陣官^軍因^備伊^州少^一後^て

長^州本^月廿^六日未^上刻^{より}酉^下刻^{まで}脱^走兵^敗軍^湯

本^臺茶^店へ放^火いた^し引^揚い^し小^田原^勢隊^長渡^辺

大^允吉^野市^太夫^同藩^石川^監物^山中^湊男^某ハ討^死其^他

手^負数^十人^のよ^し

- 一 戦中酒拾樽官軍方にて買揚陣中へ持込あり
- 一 酒匂川之依仗橋にて往來相成り事
- 一 小田原大砲曳足輕の内脱走兵と組打首級を得たり
- 一 官軍討死手負未^ハと詳あらは
- 一 脱走兵大敗討死手負前同断

○ 欧羅巴諸州通用金相場之事

英吉利の通用金「ポンド」といへる金銭と二十^ニ分たる
 銀錢と「シルリング」といふ一「シルリング」を十二^ニ分こ
 る銅錢と「ペンス」といふ^出の銅錢と一文をふ時ハ彼即
 一「ポンド」ハ二百四十「ペンス」あり

「メキシコドル」を以て「ポンド」の手形を買ふハ固
 より時の相場次第おれども大抵一「ドル」はつゝ五
 十二三「ペンス」即^チ一「ポンド」ハ九四「ドル」半^ニあた
 「ドル」の相場と日本の金三歩とすれハ一「ポンド」ハ
 金三兩一歩二米許^ニ当り
 亞米利加の「ドル」ハ「メキシコドル」よりも少
 輕^シ大抵百「ドル」は六^七「ドル」の差あり
 佛蘭西の通用金ハ「フランク」といふ銀錢にて大抵五「フ
 ランク」半ハ一「ドル」^ニと鈞合相場ナリ此「フランク」二
 十枚^ニ当り金銭あり十年許以前の薪吹にて金銭の表

今今の佛蘭西帝ナポレオンノ面の像也。也へは改羅
巴にて此金錢ノ異名ヲワケテナポレオント云リ即一ナ
ポレオンハ日本の二兩三步許ノ所也。

西洋諸國にてハ餘リヌキシコドルラレテ通用せされ
ども印度海ノ港弁々上海香港辺にてハ専ら此コドル
ラレテ用ル也。日本より外國へ渡海する時ハ船中
の小を以て錢ハヌキシコドルラレテ正金トシテ持来す
べし。

